

2020 年 4 月 17 日

「学科長からのメッセージ」

看護保健学部 口腔保健学科 学科長 森崎市治郎

こんにちは。口腔保健学科の学生皆さん、お元気ですか。学科長の森崎です。よろしくお願いします。

今日は、皆さんが元気にしておられるかどうかと、また、新型コロナウイルス感染症の大流行で、今後の勉学がどうなるのかと心配されているのではないかと思っており、それを知りたくてメッセージを送らせていただきます。

これは今、大流行のSARSコロナウイルスの電子顕微鏡写真です。2、3年生の人は既に習っていますが、コロナウイルスの大きさは1mmの1万分の1から10万分の1ほどの、小さな小さな粒子です。

新型コロナウイルスに感染すると、この図のように症状が進行していきます。始めは軽いカゼと変わらない症状ですが、進行すると37.5℃以上の高熱が続いて、ひどくなると重症の肺炎に陥ってしまいます。

高齢者では2～3%の人が死亡するという恐ろしい新型コロナウイルス感染症です。改めて新型コロナウイルス感染症の怖さをご認識ください。

これも2、3年生は習っているのでよく知っていると思いますが、1年生では十分知らない人があるかもしれません。ウイルスの特徴は、細菌や真菌などとは違って、生きた細胞の中でしか増殖できないということです。生きた植物や動物の細胞の中でしか、増えることができません。

病原性ウイルスのほとんどは、口や鼻の粘膜から身体の中に入ってきます。そして病気を起こします。そのため病原体の入口を健康に保って、感染を防ぐという歯科衛生士が行う業務は、とても大切な仕事です。身体が取り入れるものは、全て口から入ってきます。栄養も、水分も、ビタミンも、また、病原菌やウイルスも口から入ってきます。

歯科衛生士の専門性は、このような身体の入口を守り、健康を保つという重要な役割を担っていることです。あなた方は、その重要な仕事を専門職、プロフェッショナルとして行っていくことになります。

来週からは本格的に遠隔授業を開始していきます。皆さんが教員と連絡を取り合いながら、講義や実習を行い、立派な歯科衛生士になれるよう、お互いに協力して、頑張ってください。

よろしくお願いいたします。お元気で、さようなら。

今、大学は新型コロナウイルス感染症の大流行のため休校中ですが、来々週からは遠隔授業を始めることになっていますので、あと数日、しばらくお待ちください。

みなさん身体は大丈夫ですか。熱や頭痛はありませんか。味や匂いは十分に感じられていますか。健康に気をつけてお過ごしください。さて、来週から遠隔授業を行いますので、授業に必要な学習資料を郵送します。

またインターネットを介しての授業になります。

お互いに慣れない遠隔授業で、初めは大変だと思いますが、インターネット環境についても分からないことがあれば、なんでもクラスアドバイザーや科目担当の教員にお尋ねください。一緒に解決して、授業効果を上げていきたいと思います。教員もまだ十分に慣れてはいませんので、皆さんと大変だとは思いますが、よろしくお願いいたします。

特に、新入生の皆さんには、4月1日の簡単な入学式以来、お会いしていませんが身体は大丈夫でしょうか。大学生活を楽しみにしておられたのに、大変残念なスタートになってしまいました。

みなさんの授業も来週から開始する予定で準備しています。僕の方から新入生への共通の課題とその資料を郵送するようにしています。そして、来々週からは、本格授業が始まります。しばらくお待ちください。

既に、インターネットで、お互いに情報をやり取りできるよう、隅々まで行き届くよう、学年担当の教員、クラスアドバイザーが手分けして皆さんと連絡を取り合っていることと思います。分からないことがあったら、なんでもネット、メール、メモや電話でも結構ですので、教員に連絡をとって理解していただければと思います。よろしくお願いいたします。